

For Earth, For Life
Kubota

ON YOUR SIDE

連結決算説明 2021年12月期第2四半期累計

(株)クボタ 取締役副社長執行役員 企画本部長

吉川 正人

2021年8月5日 (木)



2021年12月期第2四半期累計連結決算概要

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減		予想比増減 (2021年2月)	
			金額	%	金額	%
売上高	11,014	8,842	+ 2,172	+ 24.6	+ 614	+ 5.9
国内	3,025	2,902	+ 124	+ 4.3	+ 25	+ 0.8
海外	7,989	5,940	+ 2,049	+ 34.5	+ 589	+ 8.0
営業利益	13.4% 1,475	9.2% 817	+ 659	+ 80.7	+ 275	+ 23.0
税引前利益	13.6% 1,494	9.5% 844	+ 650	+ 77.0	+ 264	+ 21.5
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	9.3% 1,030	6.7% 596	+ 434	+ 72.8	+ 150	+ 17.0

(億円)	2021年12月期 2Q末	2020年12月期 期末	増減	
			金額	%
資産合計	34,308	31,893	+ 2,415	+ 7.6
親会社の所有者に 帰属する持分	16,103	14,760	+ 1,343	+ 9.1

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

2

売上高は前年同期比+24.6%増の1兆1,014億円、営業利益は+80.7%増の1,475億円、純利益は+72.8%増の1,030億円となり、いずれも過去最高となりました。
直近予想との比較では、売上高、営業利益、純利益とも上振れとなりました。

事業セグメント別売上高

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
機械	9,413	7,191	+ 2,221	+ 30.9
国内	1,604	1,446	+ 158	+ 10.9
海外	7,809	5,745	+ 2,063	+ 35.9
水・環境	1,466	1,503	▲ 38	▲ 2.5
国内	1,286	1,309	▲ 23	▲ 1.8
海外	180	194	▲ 14	▲ 7.4
その他	136	147	▲ 11	▲ 7.6
国内	136	147	▲ 11	▲ 7.7
海外	0	0	+ 0	+ 43.8
売上高合計	11,014	8,842	+ 2,172	+ 24.6

国内売上高	3,025	2,902	+ 124	+ 4.3
海外売上高	7,989	5,940	+ 2,049	+ 34.5

為替の影響（+280億円）を除くと、機械海外は+31%の増。
海外売上全体は+30%の増

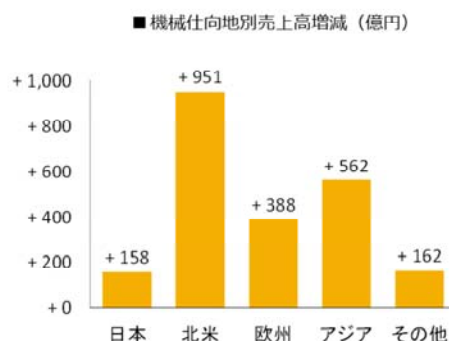
*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

事業セグメント別売上高（対前年同期）

For Earth, For Life
Kubota

機械 +2,221億円（国内：+158 海外：+2,063）

- 日本** 消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復や、経営継続補助金及び優遇税制の効果により農機、建機が増
- 北米** 郊外移住などに伴う住宅市場の拡大などによりトラクタ、建機が増。エンジンもOEM先の発注が急回復しており増
- 欧州** ディーラーの営業停止などに伴う低迷からの回復によりトラクタ、建機が増。エンジンもOEM先の増産により増
- アジア** 良好な天候や農産物価格の高値安定などを背景に、主にASEANでトラクタ、コンバインが増
- その他** 良好な天候や景気回復などにより、主に豪州でトラクタ、建機が増



【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

4

機械国内は+158億円（+11%）の増。

- 農機、建機ともに消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復に加え、経営継続補助金や優遇税制の効果により増加しました。

機械海外+2,063億円（+36%）の増。

- 北米は+951億円（+32%）の増。
 - ✓ 郊外移住などに伴う旺盛な需要を背景にトラクタ、建機が増加しました。
 - ✓ エンジンもOEM先の発注が急回復しています。
- 欧州は+388億円（+36%）の増。
 - ✓ ロックダウンによるディーラーの営業停止などによる昨年の低迷からの回復により、トラクタ、建機、エンジンともに増加しました。
- アジアは+562億円（+37%）の増。
 - ✓ 良好な天候や、農産物価格の高値安定などを背景にタイを中心とするASEAN地域でトラクタやコンバインが大きく伸長しました。
 - ✓ ASEAN以外では、中国が前年第1四半期の新型コロナウイルスの感染拡大による低迷からの回復により増加しました。
 - ✓ インドも、前年から続く順調な降雨による豊作を受けてトラクタやコンバインが大きく増加しました。なお、5月に発生した新型コロナウイルス感染第二波の影響は限定的に留まりました。
- その他は+162億円（+81%）の増。
 - ✓ 良好な天候や景気回復などによりオーストラリアでトラクタや建機が大幅に増加しました。

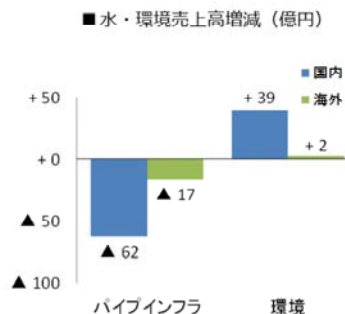
水・環境 ▲38億円（国内：▲23 海外：▲14）

国内

- パイプインフラ関連は、ダクトイル鉄管が新型コロナウイルス感染拡大に伴う工事の遅延などにより減
- 環境関連は、排水ポンプ車の増販によりポンプが大幅増

海外

- パイプインフラ関連は、反応管などの素形材がスケジュール遅延や昨年の受注減などにより減



水・環境

- 国内が▲23億円（▲2%）の減。
 - ✓ パイプインフラ関連はダクトイル鉄管が前年の大型案件の反動や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う工事の遅延などにより減少しました。
 - ✓ 環境関連は排水ポンプ車の売上が好調です。
- 海外は▲14億円（▲7%）の減。
 - ✓ パイプインフラ関連は、素形材（主に反応管）が原油価格低迷や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う昨年の受注減、及びスケジュール遅延などにより減少しました。但し、需要は回復しており、当期の受注は好調です。

営業利益

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 2Q累計		2020年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,475	13.4	817	9.2	+ 659	+ 80.7

営業利益 (+659億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(108円→108円 ※1) ユーロ(119円→130円 ※1) 他	▲55億円 +30億円 +55億円	+30億円
2.為替差損益			+83億円
3.原材料	機械(鋼材、買入部品 他) 水・環境(スクラップ、ニッケル、コイル 他)	▲50億円 ▲5億円	▲55億円
4.インセンティブ率変動	北米+18億円 他		+19億円
5.増減販			+560億円
6.製品値上げ			+60億円
7.その他			▲38億円

※1: 但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル109円→105円、ユーロ120円→126円程度

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

6

- インセンティブ率の変動 (+19億円)
 - ✓ 米国の年前半の金利水準が前年に比べて低いことなどが要因です。
- 製品値上げ (+60億円)
 - ✓ 北米での値上げ効果が中心です。
- その他 (▲38億円)
 - ✓ 2019年第4四半期の減産に伴い、昨年第1四半期に出荷した製品に含まれる生産工場の損益が悪化していたことが+87億円の増益要因となりました。
 - ✓ さらに、昨年第2四半期に新型コロナウイルスの影響などで国内外の工場が稼働を一時停止していた影響が+25億円の増益要因となりました。
 - ✓ 一方で事業の拡大に伴い、販売費や製造固定費が増加したことなどにより全体では▲38億円の減益要因となりました。

事業セグメント別営業利益

For Earth, For Life
Kubota

(億円)		2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減
機械	売上高	9,413	7,191	+ 2,221
	セグメント利益	1,439	872	+ 567
	利益率	15.3%	12.1%	+3.2P
水・環境	売上高	1,466	1,503	▲ 38
	セグメント利益	132	99	+ 33
	利益率	9.0%	6.6%	+2.4P
その他	売上高	136	147	▲ 11
	セグメント利益	16	15	+ 1
	利益率	12.0%	10.1%	+1.9P
全社/消去	セグメント利益	▲ 112	▲ 169	+ 57
計	売上高	11,014	8,842	+ 2,172
	営業利益	1,475	817	+ 659
	利益率	13.4%	9.2%	+4.2P

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

7

- 機械は、固定費の増や原材料価格高騰などの減益要因はありましたが、国内外での増販や営業利益増減要因のその他で説明した昨年の一過性の悪化要因がなくなったことなどにより大幅な増益となりました。
- 水・環境は、昨年増加していたプラント建設コストが改善しました。
- 全社/消去の改善は主に為替差損益の改善によるものです。

税引前利益・四半期利益

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 2Q累計		2020年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税引前利益	1,494	13.6	844	9.5	+ 650	+ 77.0
四半期利益	1,131	10.3	652	7.4	+ 480	+ 73.6

四半期利益の帰属

	金額	%	金額	%	金額	%
親会社の所有者	1,030	9.3	596	6.7	+ 434	+ 72.8
非支配持分	102	1.0	56	0.7	+ 46	+ 82.3

(円)		2021年12月期	2020年12月期	増減
1株当たり配当	(中間)	21 円	17 円	+ 4 円
	(期末)	(未定)	19 円	-
	(通期)	(未定)	36 円	-

<株主還元の基本方針>

総還元性向：40%以上を目標とし、50%をめざす

- ・ 上限200億円(取得期間：2021年4月21日～12月15日)の自己株式取得枠を設定

財政状態計算書

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 2Q末	2020年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
現金及び現金同等物	2,375	2,229	+ 146	
営業債権	5,890	5,920	▲ 31	▲ 220
金融債権	12,914	11,250	+ 1,664	+ 960
棚卸資産	4,287	3,740	+ 547	+ 360
その他	8,842	8,754	+ 88	
資産合計	34,308	31,893	+ 2,415	
有利子負債	9,567	8,744	+ 822	+ 360
営業債務	3,286	3,236	+ 50	
その他	4,331	4,171	+ 160	
負債合計	17,184	16,151	+ 1,033	
親会社の所有者に帰属する持分	16,103	14,760	+ 1,343	
非支配持分	1,021	981	+ 39	
資本合計	17,124	15,742	+ 1,382	
負債及び資本合計	34,308	31,893	+ 2,415	
DEレシオ (ネット)	0.45	0.44	+ 0.01	
金融を除くDEレシオ (ネット)	▲ 0.28	▲ 0.30	+ 0.02	

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

9

- 営業債権は為替の影響を除いた実質ベースで▲220億円の減。
 - ✓ 米国では、出荷が遅れている中で、小売が好調なため、ディーラーへの売掛金が減少しました。
- 金融債権は実質ベースで+960億円の増。
 - ✓ 主に小売が好調な北米で増加しました。なお、金融債権の回収状況は引き続き良好です。
- 棚卸資産は実質ベースで+360億円の増。
 - ✓ 港湾の混雑などの影響により輸送中の在庫が増加しました。
- 有利子負債は実質ベースで+360億円の増。
 - ✓ 好調な小売に伴い金融債権が大幅に増加しましたが、売掛金の回収が進んだことなどにより、増加幅は抑制されました。

キャッシュ・フロー計算書

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	508	495	+ 13
金融債権の増加	▲ 993	▲ 635	▲ 358
その他	1,501	1,130	+ 371
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 453	▲ 304	▲ 149
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 570	▲ 384	▲ 185
その他	117	80	+ 37
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	362	▲ 339
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	68	▲ 43	+ 111
現金及び現金同等物の純増	146	510	▲ 364
フリーキャッシュ・フロー	▲ 62	111	▲ 173
フリーキャッシュ・フロー（金融債権の増減を除く）	931	745	+ 186

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved. 10

- 営業キャッシュフローは+508億円の収入。
 - ✓ 内訳は、利益と減価償却費で+1,483億円の収入、金融債権の増で▲993億円の支出、その他+18億円の収入です。
 - ✓ 前年同期比では+13億円の収入増となりました。金融債権の増加に伴う支出が増加しましたが、四半期利益の増で補いました。
- 当社が重視しております金融債権の増減を除いたフリーキャッシュフローは、前年同期比+186億円増加して931億円となりました。

金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

For Earth, For Life
Kubota

財政状態計算書

(億円)	2021年12月期 2Q末		2020年12月期 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	14,872	22,137	13,174	20,973
現金及び現金同等物	320	2,055	249	1,980
営業債権	335	5,572	332	5,604
金融債権	12,914	-	11,250	-
棚卸資産	-	4,287	-	3,740
有形固定資産	38	4,367	12	4,235
その他	1,265	5,856	1,331	5,414
負債合計	12,591	7,120	11,153	7,078
有利子負債	11,894	-	10,564	-
その他	697	7,120	590	7,078
資本合計	2,282	15,016	2,021	13,895

損益計算書（金融事業）

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	432	380	+ 52	+ 13.7
営業利益	47.4% 205	39.8% 151	+ 53	+ 35.3
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	30.0% 130	23.9% 91	+ 39	+ 42.6

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

11

- 金融事業を除くベースでは、無借金状態を維持しております。
- 金融事業のP/Lも試算していますが、十分な収益性を維持しております。

機械事業の動向

機械事業の動向（米国）

For Earth, For Life
くぼた

米国 トラクタ、建機の小売は住宅関連市場の好調を背景に増加。一方、港湾の混雑や人手不足に伴う生産・出荷遅延によりディーラー在庫水準が低下

トラクタ/小売 中・小型は巣ごもり需要や郊外移住などによる住宅投資の拡大を背景に好調。大型も農作物価格の上昇により堅調に推移

建機/小売 好調な住宅着工やレンタル業者の投資回復により需要が拡大。ウッドショックにより足元の住宅着工は若干鈍化しているが、新製品の立ち乗り式CTLを含め、各機種ともに総じて好調

トラクタ・建機 / 卸売 港湾の混雑に加え、人手不足や部品供給の遅れに起因する生産遅延が続いており、好調な小売に卸売が追いつかない状況。卸売は前年を大幅に上回っているものの、ディーラー在庫は過去最低水準まで低下。人手不足などの解消にはまだ時間がかかる見込みであり、引き続き生産・出荷の最大化ときめ細かい在庫コントロールに注力する

エンジン/卸売 建産機、冷凍トラック関係を中心にOEM先のオーダーが急増しており、総じて堅調

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社くぼた

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

13

<上期実績>

- ・ 当社事業と関連が強い住宅着工件数は150万件を超える高水準を維持しています。
- ・ ウッドショックによる建材の高騰や長期金利の上昇により住宅市場が減速するリスクもありますが、足元の金利はまだ低い水準にあり、当面は旺盛な需要が続くと見込んでいます。

①トラクタ（小売）

- ・ ホームオーナー向けが中心の小型（40馬力以下）市場は前年比+15%の拡大、中型（40-120馬力）市場は前年比+19%の拡大となりました。郊外移住やリモートワーク定着により、住宅やQuality of Life向上への支出が増加していることなどを背景に、好調に推移しています。
- ・ 農用ユーザー中心の大型（120馬力以上）は農産物価格上昇により市場は前年比+22%の拡大となりました。
- ・ 当社のトラクタの小売は+17%の増加となり、芝刈機やユーティリティ・ビークルも堅調に推移しました。
- ・ 5月と6月の小売は前年を下回りましたが、これはディーラー在庫不足の影響が大きいと見えています。

②建機（小売）

- ・ 住宅の建築ラッシュが続いているほか、レンタル会社の投資も回復したため、市場は各機種ともに大きく拡大しました。
- ・ 当社の小売も+45%の大幅増となり、新製品の立ち乗り式CTLも計画を上回る好調なスタートとなりました。

③トラクタ・建機（卸売）

- ・ 前年は大きく上回るものの、港湾の混雑による製品・部品の着荷遅れや、工場及びサプライヤーでの人手不足に伴う生産遅延が発生しており、市場のニーズを満たせるだけの製品を出荷出来ていない状況です。
- ・ この結果、ディーラー在庫は前年同期の半分以下の1.9か月と、過去最低水準に落ち込んでいます。

④エンジン（卸売）

- ・ OEM先の生産は昨年の低迷から急回復しており、建産機関係、冷凍トラックを中心に需要は好調に推移しています。
- ・ OEM先の急激な増産要望に対して多くのバックオーダーを抱えている状況です。

<下期見通し>

- ・ 高水準の需要が続くと見えますが、一方で生産、出荷の改善にはまだ時間がかかる見込みです。
- ・ 年後半の出荷は年前半に比べて増加するものの、年末までにディーラー在庫を適正水準まで引き上げることは困難であり、年末のディーラー在庫は4ヶ月を下回る見込みです。
- ・ 人手不足は徐々に解消されていくと見えますが、劇的な改善は難しいため、前半同様、緻密な在庫アロケーションなどにより小売への影響抑制を図っていきます。
- ・ 米国でも新型コロナウイルス変異株の感染が拡大しており、人手不足の解消などの今後の状況については不透明感があります。

機械事業の動向（米国） - 補足データ

For Earth, For Life


■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年	▲ 8.9%	+ 24.0%	+ 28.2%	+ 33.3%	+ 13.3%	+ 21.0%
0-40馬力	▲ 5.1%	+ 13.9%	+ 17.1%	+ 21.6%	+ 6.5%	+ 13.1%
40-120馬力	▲ 14.1%	+ 9.2%	▲ 10.4%	+ 8.8%	▲ 0.1%	▲ 0.3%
120-160馬力	+ 64.3%	▲ 1.9%	-	-	+ 15.2%	-
0-40馬力	+ 34.0%	+ 11.4%	-	-	+ 19.3%	-
40-120馬力	+ 29.8%	+ 10.9%	-	-	+ 22.1%	-
120-160馬力	-	-	-	-	-	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 0-8tバックホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年	+ 4.5%	▲ 4.4%	+ 20.2%	+ 27.5%	▲ 1.0%	+ 12.0%
2021年	+ 38.0%	+ 30.4%	-	-	+ 33.5%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ コンパクトトラックローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年	+ 2.2%	▲ 0.1%	+ 25.0%	+ 24.7%	+ 0.8%	+ 13.8%
2021年	+ 46.5%	+ 32.3%	-	-	+ 37.9%	-

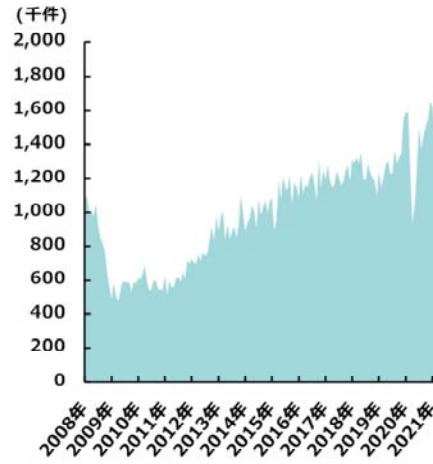
出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ スキッドステアローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年	▲ 10.9%	▲ 23.6%	+ 6.4%	▲ 0.8%	▲ 18.0%	▲ 6.9%
2021年	+ 14.8%	+ 27.1%	-	-	+ 21.1%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



機械事業の動向（欧州）

For Earth, For Life
Kubota

欧州 トラクタ、建機、エンジンともに前年のロックダウンによる低迷から順調に回復

トラクタ/小売

トラクタは前年のロックダウンによる低迷からの回復により、各国で堅調に推移。乳製品や穀物価格の上昇により農家の購買力も回復傾向

インプラメント/卸売

トラクタ同様、堅調に推移

建機/小売

前年の大手レンタルメーカーによる買い控えから回復し、英国、イタリアなどを中心に増

エンジン/卸売

前年のOEM先の生産停止や建産機市場の低迷からの回復により増

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

15

<上期実績>

- 昨年のロックダウンによる市場低迷から回復基調にあり市場は堅調です。
- ①トラクタ（小売）
 - 前年の低迷からの反動に加え、乳製品や穀物価格の上昇により農家の購買力も回復しており、堅調に推移しています。
 - 4月よりM6シリーズの販売を開始し、大型市場の攻略に弾みをつけていきます。
 - ②インプラメント（卸売）
 - トラクタ同様に堅調に推移しています。
 - ③建機（小売）
 - 昨年の大手レンタルメーカーによる買い控えからの回復により、英国やイタリアを中心に好調です。
 - ドイツはロックダウンにより一時期弱含みましたが、段階的なロックダウンの緩和に伴い足元の状況は改善しています。
 - ④エンジン（卸売）
 - 前年のOEM先の減産の反動に加え、建産機、冷凍機向けを中心に需要は非常に好調です。

<下期見通し>

- 住宅着工件数の拡大などにより市場の見通しが強いことに加え、英国での投資促進税制などの効果もあり、引き続き堅調に推移すると見えています。

機械事業の動向（アジア）

For Earth, For Life
くぼた

タイ・ 周辺国

良好な天候や農産物価格の高値安定に加え、政府補助金も農家の購買意欲向上に繋がっており、需要拡大

トラクタ/小売

農家の購買意欲向上により増

コンバイン/小売

良好な天候や、コメの価格安定・収量増などを背景に増

建機/小売

好調に推移するも、足元で新型コロナウイルスの感染拡大による建設工事の遅延が発生

周辺国/小売

カンボジアは米価が高値で推移しており好調。ミャンマーは政情不安により経済活動が大きく制限された影響により減

中国

前年の新型コロナウイルスの影響から回復。政府補助金予算は前年比で減少しているものの、早期購入の動きなどにより需要は底堅く推移

農機/小売

コンバインは米価や賃刈業者の収益性に改善が見られず、需要が低価格機に向かっているため、前年並みに留まる。更新需要が拡大している田植機や早期購入が進んでいるトラクタは増

建機/小売

価格競争の激化や工事量の減少などにより減

エンジン/卸売

建機向けについては足元で生産調整の動きはあるが、産業機械や冷凍機向けの好調により増

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社くぼた

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

16

タイ・周辺国 <上期実績>

- ・ 昨年の雨季以降の順調な降雨や、農産物価格の高値安定、政府補助金の支給などにより市場は順調に拡大しています。
- ・ 足元で新型コロナウイルスの感染が拡大していますが、今のところ影響は限定的です。また、コロナ禍により都心部の出稼ぎ労働者が地方の農家に戻ることで農機需要が拡大しているプラス面もあります。

①タイ国内トラクタ（小売）

- ・ 稲作農家に加え、畑作農家（シュガーケーン、キャッサバ等）の新規顧客開拓が順調に進んでおり小売は好調です。
- ・ 6月よりシュガーケーン農家への政府補助金が開始されたことも追い風になり、農家の購買意欲が向上しています。

②タイ国内コンバイン（小売）

- ・ 安定した米価、順調な降雨による収量増などにより堅調に推移しています。

③タイ国内建機（小売）

- ・ 足元では新型コロナウイルスの感染拡大による建設工事の遅れが発生しているものの、上半期の小売は伸長しました。

④周辺国（小売）

- ・ カンボジアはタイ同様天候に恵まれ、作物価格も安定しているため好調です。
- ・ ミャンマーは政情不安のなかで経済活動が制限された影響により減少しました。5月以降徐々に経済活動が再開されているものの、正常化にはまだ時間がかかる見込みです。

<下期見通し>

- ・ 昨年後半も雨季の順調な降雨により好調であったことや、前半の順調な降雨により前倒し需要が出ていると想定されること、さらにミャンマーでは引き続き政情不安の影響が残ることなどにより前年を下回ると見えています。
- ・ タイでも新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあり、年後半の状況については不透明な部分があります。

中国

<上期実績>

- ・ 市場は前年第1四半期の新型コロナウイルスによる低迷から回復しています。
- ・ 今年の農機購入補助金予算は140億元であり、前年実績274億元に比べて大きく減少する見込みですが、購入マインドが引き続き高止まりしたことなどもあり、需要は堅調に推移しました。

①農機（小売）

- ・ コンバインは、前年のコロナ禍による低迷からの反動がある一方、米価が上がらず賃刈業者の収益性が低下していることから、需要は低価格機や中古市場を中心に拡大しました。その結果、春商戦での当社の小売は前年並みに留まりました。
- ・ 田植機は過去最大の販売を記録した2017年の更新需要をうまく取り込んだことにより、トラクタは購入マインドが引き続き強かったことによりそれぞれ増加しました。

②建機（小売）

- ・ 5t以上での値下げ競争の激化や、4月以降の工事量の減少（地方選挙や南部地域での降雨、工事代金の支払い遅延等の影響によるもの）により低調に推移しました。

③エンジン（卸売）

- ・ 一部の機種で供給不足の影響はありましたが、フォークリフト、高所作業車、冷凍機向けなどを中心に堅調に推移しました。

<下期実績>

- ・ エンジン引き続き高水準の需要が続くほか、建機も工事の再開による挽回を見込んでいますが、農機については、コロナ禍からの回復や政府の需要喚起策などにより昨年が好調であったため、前年を少し下回ると見えています。

機械事業の動向（日本）

For Earth, For Life
Kubota

日本 消費増税前の駆け込み需要の反動減による前年の低迷から回復。経営継続補助金や優遇税制の効果もあり農機、建機ともに堅調

農機/小売

農機は、消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復と経営継続補助金により増。前年後半に投入した中型トラクタも好調に推移しており、バーチャル展示会などの営業施策も奏功

建機/小売

新型コロナウイルスの感染拡大に伴いレンタル会社は設備投資に慎重となるも、優遇税制などによる一般ユーザー向けの好調で補い増

エンジン/卸売

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うOEM先の減産からの回復により増

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

17

<上期実績>

①農機（小売）

- 消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復や、経営継続補助金の効果などにより市場が拡大しました。
- 当社の小売（実販）も市場拡大に加え、昨年後半に投入した中型トラクタの好調などにより堅調です。
- バーチャル展示会なども展開し、リアルでの提案活動と連動したデジタルマーケティングによって担い手との接点強化を図っています。

②建機（小売）

- コロナ禍によりレンタル会社が依然設備投資に慎重ですが、一般ユーザー向けは優遇税制などの効果により堅調に推移しました。

③エンジン（卸売）

- OEM先の減産からの回復により堅調です。

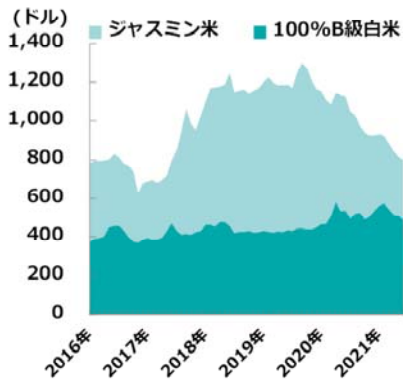
<下期見通し>

- トラクタの好調は継続する見込みですが、昨年後半は消費増税の影響がすでに解消されていたため、国内売上全体では微増に留まる見込みです。
- 日本でも新型コロナウイルス変異株の感染が急拡大しており、今後さらに状況が悪化した場合、特に調達や生産面で影響が出る可能性があります。

機械事業の動向（タイ・中国・日本） - 補足データ

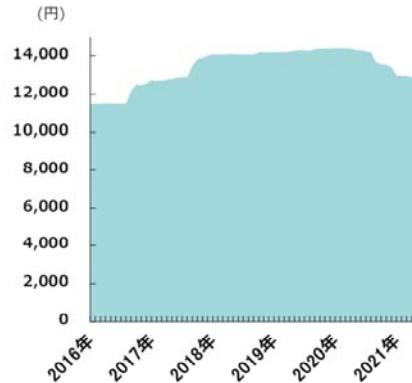
For Earth, For Life
Kubota

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
補助金(億元)	第1次	130	200	170	210	228	186	186	180	169	140
	年間計	215	218	238	238	237	186	186	180	274	

業績予想

2021年12月期業績予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減		2021年12月期 (直近予想-2月)
			金額	%	
売上高	21,500	18,532	+ 2,968	+ 16.0	20,500
国内	6,160	5,952	+ 208	+ 3.5	6,060
海外	15,340	12,580	+ 2,760	+ 21.9	14,440
営業利益	12.1% 2,600	9.5% 1,753	+ 847	+ 48.3	10.7% 2,200
税引前利益	12.2% 2,630	10.0% 1,859	+ 771	+ 41.5	11.0% 2,250
親会社の所有者に帰属する 当期利益	8.5% 1,830	6.9% 1,285	+ 545	+ 42.4	7.7% 1,580

足元で新型コロナウイルス変異株の感染が世界的に拡大しており、今後さらに状況が悪化した場合には、当社業績にも影響が出る可能性があります。現時点では想定が困難なため本業績予想には反映しておりません。

事業セグメント別売上高予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
機械	18,000	15,091	+ 2,909	+ 19.3
国内	3,100	2,929	+ 171	+ 5.8
海外	14,900	12,162	+ 2,738	+ 22.5
水・環境	3,200	3,158	+ 42	+ 1.3
国内	2,760	2,740	+ 20	+ 0.7
海外	440	418	+ 22	+ 5.2
その他	300	283	+ 17	+ 5.8
国内	300	283	+ 17	+ 5.9
海外	0	0	-	-
売上高合計	21,500	18,532	+ 2,968	+ 16.0

国内売上高	6,160	5,952	+ 208	+ 3.5
海外売上高	15,340	12,580	+ 2,760	+ 21.9

為替の影響(+410億円)を除くと、機械海外は+19%の増。海外売上全体も+19%の増

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved. 21

機械海外

- 地域別の売上は、先ほどご説明いたしました各市場の想定に基づき、現地通貨ベースで北米は+24%の増収、欧州は+17%の増収、アジアは+13%の増収、その他の地域は+9%の増収を想定しています。
- アジアの内数として、タイ及び周辺3か国は現地通貨ベースで+17%の増収、中国については現地通貨ベースで+1%の増収を想定しています。

営業利益予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 (予想)		2020年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,600	12.1	1,753	9.5	+ 847	+ 48.3

営業利益 (+847億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(107円→108円 ※1) ユーロ(122円→130円 ※1) 他	▲25億円 +70億円 +75億円	+120億円
2.為替差損益			+70億円
3.原材料	機械(鋼材、買入部品 他) 水・環境(スクラップ、コイル、レジン 他)	▲200億円 ▲70億円	▲270億円
4.インセンティブ[※]率変動	北米▲24億円 他		▲38億円
5.増減販			+740億円
6.製品値上げ			+160億円
7.その他			+65億円

※1: 但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル108円→107円、ユーロ121円→129円程度

【2021年12月期第2四半期決算説明会資料】

株式会社クボタ

©2021 Kubota Corporation All Rights Reserved.

22

- 原材料価格 (▲270億円)
 - ✓ 鋼材や鉄スクラップ、コイル、塩ビレジンなどの価格上昇の影響が下期にかけて拡大するため、減益要因となる見込みです。
- インセンティブ率の変動 (▲38億円)
 - ✓ 米国の金利が年初から緩やかに上昇しており、前年のような金利低下に伴う引当金取崩益がなくなるのが主要因であり、インセンティブプログラムは抑制傾向にあります。
- その他 (+65億円)
 - ✓ 前期に減産などに伴う一時的な減益要因が発生していたことが合計+189億円の増益要因となるほか、収益性の高い北米向けの増販に伴う構成改善が+80億円、金利低下などに伴う金融事業の収益性向上が+80億円の増益要因となる見込みです。
 - ✓ 一方で、事業量の増加に伴い、人件費や販売経費が増加するほか、研究開発費、減価償却費、物流費なども増加するため、合計で+65億円の増益要因と見ています。

事業セグメント別営業利益予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)		2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減
機械	売上高	18,000	15,091	+ 2,909
	セグメント利益	2,640	1,800	+ 840
	利益率	14.7%	11.9%	+2.7P
水・環境	売上高	3,200	3,158	+ 42
	セグメント利益	270	259	+ 11
	利益率	8.4%	8.2%	+0.2P
その他	売上高	300	284	+ 16
	セグメント利益	30	35	▲ 5
	利益率	10.0%	12.2%	▲2.2P
全社/消去	セグメント利益	▲ 340	▲ 341	+ 1
計	売上高	21,500	18,532	+ 2,968
	営業利益	2,600	1,753	+ 847
	利益率	12.1%	9.5%	+2.6P

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

設備投資等

For Earth, For Life
Kubota

■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2021年12月期		2020年12月期 (実績)
	(今回見直し)	(期初予想)	
設備投資*	1,400	1,400	872
減価償却費*	610	610	532
研究開発費	590	610	553

* IFRS第16号「リース」の適用に伴う使用権資産の計上及び使用権資産に係る減価償却費は含まない

- 設備投資は最大で1,400億円、減価償却費は610億円で期初予想から変更ありません。
- 研究開発費は上期の実績等を踏まえ、期初予想から若干減額し、590億円としています。

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。



ON YOUR SIDE

ご清聴ありがとうございました。

For Earth, For Life

Kubota